



1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 年間計画

月	教科書	学習項目
4	Review Lesson Lesson 1-1,2	1年生の復習 福祉、動物:介助犬(SVOO 「…に～をあげる」等)
5	Lesson 1-3 Lesson 2	(that節 「私は…だと思う」等) 自然科学、環境:エネルギー問題 (接続詞「もし～なら、…」 「～しているとき…」 / 過去進行形 「～しているところだった。」等)
6	Lesson 3 Project 1 Reading 1	社会、科学技術:ユニバーサルデザイン (不定詞 「～したい。」 「～するために…する。」 動名詞) 解決すべき問題に対し自分たちができる取組を考える。 説明文を読み概容を理解する。
7	Reading 1 Lesson 4	(英語暗唱の取り組み) 職業、社会:職場体験(不定詞「～するための時間」動名詞 「～することは…だ。」等 / SVOO=that節)
8	Lesson 5	外国の文化:ハロウィーン (不定詞 「～の仕方」 It ~ to do)
9	Lesson 6	日本と外国の地理・文化:さまざまな名所 (ものごとを比較する文(比較・最上級 「～より…である。」 「最も～である。」 「同じくらい～である。」など)
10	Lesson 7 Project 2	社会、福祉:さまざまな慈善活動 (受け身の文 「～される」「～された。」) 行ってみたい名所を紹介する。
11	Reading 2 Lesson 8	伝記を読み、主なできごとを整理する。 日本の伝統文化(間接疑問文「いつ(どこ、何)か知っていますか。」 / SVO to do「～に…するよう頼む」など)
12	Lesson 9-1,2	コミュニケーション:ジェスチャーや手話 (SVOC「～を…にする。」)
1	Lesson 9-3	(SVO+原形不定詞 「～させてください。」 「～を…することを手伝う」など)
2	Project 3 Reading 3	日本の文化紹介 主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちをとらえる。
3	1年間の学習のまとめ	

3 評価の観点（目標）と方法

①【知識・技能】

- ・単語、熟語、文の決まり（文法）を理解しているか、など

②【思考・判断・表現の能力】

- ・英語で情報や考えなどを表現し、伝え合う力
- ・話題にあった表現を使うなどのコミュニケーション力
- ・英語を聞いたり読んだりして情報を理解するなどのコミュニケーション力

③【主体的に学習に向かう態度】

- ・その時間の課題に自分から積極的に取り組もうとしているか、など
- ・英語で伝えるために、わからないところを質問したり、学習を振り返ったり、仲間と協力して課題を解決できる、など

※上記3つの観点について、「話すこと（やりとり・発表）」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動を通して評価を行います。

- ☆ 定期テスト（筆記） ※リスニングテストは普通の授業の中で行います。
年4回（前期中間・前期期末・後期中間・後期期末）
- ☆ 単語テスト
5問テストなど必要に応じて行います。
- ☆ ノート・ファイル、宿題、ワーク点検
宿題のノートやプリントの提出確認、授業ノートやワーク点検をします。
- ☆ パフォーマンステスト（読む、質問に答える、発表するなど）、英語暗唱

4 学習の進め方（確認）

【授業準備】

- ・毎時間必要なものは、教科書、ノート、ファイル、ワーク chromebook の5つです。
授業開始前にすべてあるか確認しましょう。

【授業予習編】

- ・新出単語を書き出し、デジタル教科書などで意味を調べて書いておく。
- ・本文の日本語訳（穴埋め）をする。

【授業中編】

- ・「聞く」「話す」ことが中心です。授業でしかできないこともあります。

【ワーク】

- ・授業でも使用します。授業後には、既習内容について家庭学習として取り組んでください。
また、定期テスト対策としても活用しましょう。

5 家庭学習のアドバイス

教科書では新しいページに1つ新しい表現が出てきます。その1つの表現で色々なことを言えるよう、動詞を変えたり、時間や場所をつけ加えて詳しく言ったりする練習をしましょう。

例) Will you play video games? → Will you eat dinner at 7:00 tonight?

授業で言えたことを、忘れないようにワーク、キュピナなどを使って復習しましょう。
言えたことを正確に書けるよう、単語の学習を続けるようにしましょう。